



平成30年1月31日(水)

長崎県内経済情勢報告

平成30年1月

財務省福岡財務支局 長崎財務事務所

〔問い合わせ先〕

財務省 福岡財務支局

長崎財務事務所 財務課

TEL 095-827-7095

FAX 095-811-7030

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに持ち直している」

項目	前回 (29年10月判断)	今回 (30年1月判断)	前回比較
総括判断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡

(注) 30年1月判断は、前回29年10月判断以降、30年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は持ち直しつつあるほか、生産活動は緩やかに持ち直しており、雇用情勢は改善しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回 (29年10月判断)	今回 (30年1月判断)	前回比較
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	➡
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡
雇用情勢	改善しつつある	改善しつつある	➡
設備投資	29年度は増加見通し	29年度は増加見込み	➡
企業収益	29年度は増益見通し	29年度は減益見込み	⬇
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	➡
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	➡

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、景気回復に向かうことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「持ち直しつつある」

個人消費をみると、百貨店・スーパー販売額は、衣料品で前年を下回るものの、飲食料品で前年を上回っていることなどから、全体として持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売額は、前年を上回っている。乗用車販売は、小型車や軽自動車で前年を下回ることなどから、全体で前年を下回っている。主要観光施設の入場者数・主要地区の宿泊者数は、前年の復興施策の反動の影響等がみられるものの、底堅く推移している。

(主なヒアリング結果)

- 12月は前年より気温が低く推移したため、紳士服、婦人服で冬物衣料の売行きが好調であった。また、衣料品を買い求める顧客が、併せて食料品を購入するため、食料品についても好調であった。(小売)
- 団体ツアー客に動きがみられ、足下の予約状況は前年を上回っているなど、堅調に推移している。(宿泊)
- 前年の震災復興施策の剥落によって前年を下回っているが、10～12月は概ね目標を達成したことから業況は悪くない。(宿泊)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

生産活動を主要業種でみると、はん用・生産用機械は発電プラント向けを中心に高操業を続けており、電子部品・デバイスは堅調に推移している。造船は、一部で幾分操業を落としているものの、全体としては高めの操業を維持している。

- これまでに受注した船舶の建造を高操業で続けており、生産の動向に変化はない。受注に動きはみられるが、船価は低く抑えられており、市況が良くならない限り、収益的には厳しい状況となっている。(造船)
- 連続建造のため作業員の残業時間も増えており、工場の稼働状況は高操業の状態が続いている。(造船)
- これまでに受注した発電プラント向けの生産によって堅調な生産高を維持している。一方で、受注状況は国内外ともに芳しくない。(はん用・生産用機械)

■ 雇用情勢 「改善しつつある」

雇用情勢をみると、新規求人数は、生活関連サービス業・娯楽業等で増加していることから、前年を上回っている。新規求職者数は、前年を下回っている。また、有効求人倍率は、上昇している。

- 正社員の求人において、4月の新規採用まで待つことができない企業が中途採用の求人を行っていることから、正社員の求人倍率も上昇している。(労働局)
- 受注が増加しており、営業部門において即戦力が欲しいため中途採用者を募集しているが集まらない。(卸売)

■ 設備投資 「29年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10-12月期

29年度の設備投資額は、製造業は前年比36.7%の増加見込み、非製造業は同3.4%の増加見込みとなっており、全産業では同20.7%の増加見込みとなっている。規模別にみると、大企業は減少見込み、中堅企業、中小企業は増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「29年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」29年10-12月期

29年度の経常利益(「電気・ガス・水道業」及び「金融業、保険業」を除く)は、製造業は前年比28.1%の減益見込み、非製造業は同3.4%の減益見込みとなっており、全産業では同16.5%の減益見込みとなっている。規模別にみると、大企業は減益見込み、中堅企業、中小企業は増益見込みとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

住宅建設を新設住宅着工戸数でみると、前年を上回っている。

■ 公共事業 「前年度を上回っている」

公共事業を公共工事前払金保証請負金額(29年度累計)でみると、前年度を上回っている。

(その他項目)

- 企業の景況感を法人企業景気予測調査（29年10～12月期）の景況判断BSIで見ると、29年10～12月期は、「上昇」超に転じている。先行きについては、30年1～3月期は、「下降」超に転じる見通しとなっている。
- 企業倒産の件数は、前年を下回っている。
- 消費者物価（長崎市）は、前年を上回っている。